

## 7. 教育センター

教育センターは、本学医学・看護学の卒前ならびに卒後教育の支援組織として、教育を推進する。これらの活動を通して、東京慈恵会医科大学の発展に寄与し、国民のための医療者教育の向上に貢献することを目的とする。卒前教育、卒後教育、生涯学習の連続性の中で、大学、附属病院を横断する教育活動について、教育センターは支援する。教育センター長、部門組織は次の通り。

教育センター長 福島 統 教授

- (1) 医師キャリアサポート部門
  - ① 医学教育研究室
  - ② 教育開発室
- (2) 看護キャリアサポート部門
- (3) シミュレーション教育部門
- (4) 地域医療支援部門
- (5) 教育IR部門
- (6) アドミッション部門

### 1) 公開講座

#### (1) 大学主催公開講座

教育センターが公開講座推進委員会（委員長：福島統教授）を主管し、大学主催（大学および4附属病院が企画・実施）の公開講座を取り纏めた。平成29年度は全機関で27回開催した。本公開講座は一般市民および地域医療者を対象とし、大学の社会貢献と広報活動の充実に関する事業としている。公開講座の継続的な推進を図るため、各機関による主体的な運営形態としている。

平成29年度の開催内容は下記のとおり。

- ・附属病院：計14回（新みんなの健康教室（10回）、市民公開講座（4回））
- ・慈恵医大葛飾医療センター公開セミナー 3回
- ・慈恵医大第三病院公開健康セミナー 4回
- ・柏病院市民公開講座 2回
- ・大学：計4回（ひらめき☆ときめきサイエンス2回、市民公開講座2回）

#### 2) 教育に関する公的補助金にかかる事業

##### A. 平成25年度文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成」事業

内科学講座（総合診療内科）大野岩男教授が事業推進責任者となり、取組「卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発ー地域における臨床研究の推進を目指してー」を申請し、採択を受けた。事業期間は平成25年度～29年度。本補助事業平成29年度の主な活動は次の通り。

#### (1) 教育プログラムの開発

次の8つの教育プログラムの開発を行った。

- ① 高齢者医療体験実習（医学科3年次）
- ② へき地医療プログラム（初期臨床研修 2年目研修医）
- ③ 総合診療コース（レジデント）
- ④ 大学院医学研究科博士課程授業細目「地域医療プライマリケア医学」
- ⑤ 授業細目「地域医療プライマリケア医学」・レジデントのコンバインドコース
- ⑥ EBMと臨床研究セミナー（大学院インテンシブコース）
- ⑦ 総合診療・家庭医療ブラッシュアッププログラム（医師インテンシブコース）
- ⑧ 復職支援スタートアッププログラム（医師インテンシブコース）

#### (2) 総合診療イブニングセミナー

8月22日に英国キングス大学の地域医療教育部門のAnne Stephenson教授をお迎えして総合診療イブニングセミナーを行った。参加者は19名であった。

### (3) 成果報告会

本事業の最終年度により成果報告会を平成30年1月18日に開催した。

全国の医学部、教育施設、医学教育・総合診療に案内し、学内外から48名の参加があった。

- B. 平成28年度文部科学省大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」  
山口大学を代表校とし、本学が連携5大学のひとつとして、取組「慢性の痛みに関する教育プログラムの構築」事業の推進を行った。本学の事業責任者は上園晶一教授（麻酔科学講座）が担当した。事業期間は平成28年度～32年度。

- C. 平成29年度大学教育再生戦略推進費「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン」

筑波大学を代表校とし本学が連携12大学のひとつとして、事業「関東がん専門医療人養成拠点」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は矢野真吾教授（腫瘍・血液内科）が担当した。事業期間は平成29年度～33年度。

- D. 経常費補助金私立大学改革総合支援事業タイプ2

地域と大学との連携に対するタイプ2補助金申請を行い、採択された。

- E. 経常費補助金「情報の公表」

教育情報の公表について、関係部署からデータ提供の協力を得て、平成29年9月に本学ホームページに掲載し、教育情報の公表を行った。

### 3) 看護学教育プログラム

看護学教育部門（看護キャリアサポートセンター）の奈良京子部門長を担当として、以下の教育プログラムを実施した。

#### (1) エデュケーションナース研修

- ・開催趣旨：新人看護師やプリセプターに対して意図的に適切な指導を行うために必要な知識・技術・態度を修得し、教育担当者としての役割を担う看護師の育成をねらいとした。
- ・開催期間：平成29年7月31日（月）～11月18日（土）の内20日間、受講者数：48名

#### (2) 看護監督者研修

- ・開催趣旨：中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を修得し、大学病院・看護部の理念の基、担当部署の看護管理過程が展開できる人材を育成することをねらいとした。
- ・開催期間：平成29年11月22日（水）～平成30年2月24日（土）の内11日間、受講者数：18名

#### (3) 看護管理者研修

- ・開催趣旨：臨床および教育の看護管理者が一堂に集まり、各々の立場から本学の看護の現状と課題について情報交換を行い、【目指す慈恵の看護】を共有し、連携強化を目指した。
- ・開催期間：平成30年1月27日（土）～1月28日（日）1泊2日、受講者数：16名

### 4) シミュレーション教育支援

シミュレーション教育施設委員会（委員長：福島統教授）が中心となり、シミュレータ機器の選定、購入などの機器整備を行い各機関のシミュレーション教育施設の充実を図るとともに、シミュレーション教育施設の管理運営を行った。

各機関の利用状況は、西新橋校461件、国領校59件、葛飾医療センター193件、柏病院176件、合計889の利用であった。

### 5) ICT活用教育支援

#### (1) eラーニング

卒前・卒後教育教材の作成とeラーニングのサーバ等のシステムを管理し、利用支援を行うとともに、教材作成を支援した。eラーニングの実績は年間34コース382回であった。内訳は次の通り。

- ・医学科学生 10コース、67回（3年次症候学演習、4年次基本的臨床技能実習など）
- ・看護学科学生 36コース、128回（2年次情報科学、3・4年次在宅看護学実習など）
- ・看護専門学校学生 1コース 2回（災害看護）
- ・大学院博士課程 2コース、18回（疫学臨床研究、生物統計学など）
- ・卒後教育（研修医、看護師、地域医療者など） 10コース、196回（鏡視下手術トレーニングなど）

(2) コンピュータ試験の支援

医学教育研究室木村直史教授を責任者として、医学科5年生「総括試験」、医学科2年生「総合試験」、など医学科で10回、看護学科科目横断試験で1回、計11回のコンピュータ試験実施の支援を行った。

(3) クリッカーを活用した授業等の支援

クリッカーの運用・管理、利用者への支援を行った。学生、大学院の授業で計64回利用された。

6) 教育IR部門

(1) 一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）が国際的に通用する評価機関となったことから、2014年に受審した医学教育分野別評価基準日本版に基づく外部評価の改善報告書を作成し、認可を得た。

(2) 2001年から2016年の医学科卒業生を対象に卒業生アンケートを実施した。回答率は22.8%（307/1,351通）であった。

7) 地域医療者教育プログラム

(1) プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム

地域医療を行っている医師を対象に「プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム」を松島 雅人教授（臨床疫学研究部・教育センター）を責任者として実施した。平成27年度生・受講生9名、平成28年度生・受講10名、平成29年度生・受講8名を受講生として、講義（eラーニング）を6コース、ワークショップを5回実施した。

8) 市民ボランティア「あけぼの会」の活動

平成24年度より、学生、医師、看護師等への本学らしい医療者教育の拡充を目的に、一般市民ボランティア「あけぼの会」を組織し活動を開始した。この組織は、現在、医学科・看護学科の授業（演習、実習）で実践している市民参加型コミュニケーション教育や、医療面接教育への支援を主としている。平成30年3月31日現在の会員数は29名で、平成29年度の活動は次の通りである。

(1) 例会（SP勉強会含む）

- |       |                |                   |
|-------|----------------|-------------------|
| 第1回例会 | 平成29年3月25日（土）  | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第2回例会 | 平成29年5月13日（土）  | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第3回例会 | 平成29年7月1日（土）   | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第4回例会 | 平成29年9月9日（土）   | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第5回例会 | 平成29年10月28日（土） | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第6回例会 | 平成30年2月24日（土）  | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第7回例会 | 平成30年3月24日（土）  | 10：00～12：00（SP会）  |

(2) 授業への参加

- |               |       |           |             |
|---------------|-------|-----------|-------------|
| 医学総論Ⅳ演習（西新橋校） | 医学科4年 | 4月7日（金）   | 14：00～16：10 |
| 医学総論Ⅳ演習（西新橋校） | 医学科4年 | 5月19日（金）  | 13：40～16：10 |
| 医学総論Ⅳ演習（西新橋校） | 医学科4年 | 6月16日（金）  | 13：40～16：10 |
| 医学総論Ⅳ演習（西新橋校） | 医学科4年 | 6月23日（金）  | 13：40～16：10 |
| 医学総論Ⅳ演習（西新橋校） | 医学科4年 | 7月7日（金）   | 13：40～16：10 |
| 医学総論Ⅲ演習（西新橋校） | 医学科3年 | 7月10日（月）  | 13：00～16：10 |
| 医学総論Ⅴ演習（西新橋校） | 医学科3年 | 11月10日（金） | 13：00～16：10 |

医療総論 I 演習 (国領校キャンパス)

医学科・看護学科 1 年 5 月 23 日 (火) 13:00~14:30

医療総論 I 演習 (国領校キャンパス)

医学科・看護学科 1 年 6 月 6 日 (火) 13:00~14:30

9) テレビ会議システムの利用支援

4 機関合同の教育・研修活動の支援として、テレビ会議運営委員会を主管し、4 機関を接続したテレビ会議システムの使用を支援し、年間14回のテレビ会議システムの利用支援を行った。利用内容は 4 病院合同セーフティーマネージメント、成医会などであった。

10) アウトリーチ活動

アウトリーチ活動推進委員会 (委員長: 南沢享教授) が主体となり、大学の社会貢献の一環として、教育研究成果の中高校への還元を目的に次の活動を行った。

(1) ひらめきときめきサイエンス

・「働き者の心臓を見て、触って、聴いて、知りつくそう」南沢享教授 (細胞生理学講座)

平成29年 7 月 21 日 (金) 大学 1 号館 6 階及び 7 階実習室、中学生 17 名

・「私たちの最も身近な隣人ー微生物ーを知ろう」

岩瀬 忠行講師 (細菌学講座)

平成29年 8 月 21 日 (月) 大学 1 号館 7 階実習室、高校生 12 名

(2) オープンキャンパスにおけるアウトリーチ活動 (3 回)

教育・研究および学生のポスター展示、学生クラブ紹介ビデオの上映を行うとともに次の講義を行った。

・ 8 月 10 日 (木) 16:10-16:40 齊藤 三郎 教授 (分子免疫学研究部)

「花粉症 コメを食べて治す時代がやってきた」

参加者 約 50 名

・ 8 月 12 日 (土) 16:10-16:40 横尾 隆 教授 (腎臓・高血圧内科)

「腎臓の不思議~その機能から先端医療まで~」

参加者 約 170 名

11) 教育質的転換プロジェクト

平成27年度開始の医学科・看護学科及び大学院における教育の質的転換に向けたプロジェクトを平成28年度も学内公募したが、申請がなかった。

12) 教育施設の整備

- ・ 2 号館講堂の視聴覚システムを整備した。
- ・ コンピュータ試験システムを中央講堂から 2 号館講堂に移設した。
- ・ テレビ会議システムを中央講堂から 2 号館講堂に移設した